

番号	氏名	抱負
231	松原 馨	本部企画委員、東京部会副部会長、東京部会理事の経験を経て、現在、放射線撮影分科会委員、プログラム委員を務めております。今後は、学会本部組織・部会組織の改編に伴い、これまで以上に横断的で風通しの良い組織の再編が必須であり、また、公益法人として他団体のみならず一般市民の利益にも繋がる相互の活動が必要と考えます。今までの経験を活かし、新たなJSRTの活動に貢献したいと考えます。
232	松原 孝祐	本学会の会員数は15000人を超える、会員諸氏が本学会に求めていることは多種多様です。その中でも特に、まだ学会発表や論文投稿に慣れない人へのサポートをしっかりと行っていくことや、世界の放射線技術学を牽引していくことは、本学会が果たすべき重要な役割であると考えております。本学会がさらに充実した学術団体となるよう、代議員として貢献していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。
233	松本 賢治	日本放射線技術学会における今後の発展のために、微力ではありますが貢献させていただきたいと考えております。若輩者ではありますが、よろしくお願ひ致します。
234	水井 雅人	鈴鹿回生病院の水井雅人と申します。私は診療放射線技師として勤務する傍ら、胸部CTに関する診療と技術の研究会の運営や通信制の大学院で内臓脂肪CTに関する研究を行っております。多くの診療放射線技師が診療活動を継続しながら修学や研究ができる環境の確立を目指して地域の活動に力を入れております。この度、代議員への立候補を勧めていただき初めて立候補させていただきました。若輩者ですがよろしくお願ひ申し上げます。
235	三村 誠一	私は現在中国・四国部会の事務局員の仕事で夏季学術大会の開催に協力を行い学会に大いに協力しております。また、技術学会からの補助で3ヶ月間の海外短期留学を経験した実績があり。会員の皆さんへその経験を還元して、海外留学の生活や学習の方法や英語論文の掲載等で助言できればと思い立候補します。私自身も学会発表を隔年で継続して行っており、会員の皆さんの研究活動へ協力できるように学会活動を続けます。
236	三村 浩朗	
237	宮崎 正義	近年、診療放射線技師が学位を取得して就職するケースや、仕事をしながら学位を取得するケースも多くなってきている。そのような向学心にあふれた技師やこれから取得していくこうとしている技師、さらに高い知識を得ようとする技師に対して、日本放射線技術学会が行っていくべき使命、方向性を代議員となって中から発信していきたい。チーム医療は低い所でまとまるのではなく、高い所でまとまるようその一員としてなりたい。
238	宮田 嘉枝子	私の所属している近畿部会は他部会に先駆けて理事や委員への女性の登用を推奨し、実現しました。女性にこだわることはあります。努力し力のある人を認める体制を整えていきます。代議員になれば、少しは努力を実らせるお手伝いができるのではないかと考え、立候補させていただきます。
239	宮地 利明	本学会代議員に立候補しましたのは、育てて下さった日本放射線技術学会に恩返し、次世代への架け橋になろうと思ったからです。選んで頂いた際は、次の事項を念頭におきながら責務をまつとうする所存です。 1)人材の育成:学会において最も重要な財産は人材と考えます。 2)学問体系の確立:世界で唯一である「放射線技術学」をさらに大きく育て上げます。 3)国際性の向上:「放射線技術学」の素晴らしいを世界中に発信します。
240	村上 克彦	